

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和4年6月24日(金)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

“マスクの下は にっこにこ”

児童支援専任 及川 節子

“マスクの下はにっこにこ”ですか？

この言葉を4月の朝会で、全校児童に投げかけました。マスクをしていても笑顔を忘れないで、という願いを伝えたかったからです。目の表情だけでは他者の気持ちは分かりづらく、気楽に友達に話しかけたり、話したことに対して友達がどう感じているのか、キャッチできないことがあったりします。子どもはなおさらです。このことは子ども同士のかかわりに、多少なりとも影響を与えていると考えます。だからこそ、マスクをしていても“マスクの下は にっこにこ”であって欲しいと願います。

4月に戸塚区より本校に着任して、はや2か月がたちます。日々、西本小の子どもとかかわる中で、心がほんわかする場面や心がいたむ場面、何とか解決する方法はないかなと悩む場面がたくさんあります。そうした時、いつも担任の先生や専科の先生、もちろん校長や副校長とも話をし、“その子”のことをいろいろな方向から受け止めるようにしています。

しかし“その子”のことを十分知るには、学校の努力だけでは限界があります。保護者の方の協力が必要不可欠なのです。子どもは学校での顔と家での顔と、子どもなりに違えてバランスをとりながら過ごしています。ですから、家庭と学校が子どもに関する話を語り合い、同じとらえ方やかかわり方で子どもに寄り添っていくことが、とても大切です。

「いま、この子は “マスクの下はにっこにこ” かな？」と思いめぐらしながら、今日も子どもと向き合っています。

<自己紹介と児童支援専任の話>

- ・名前は及川節子です。←竹のように強く育つようにという願いが込められた名前だそうです。
- ・戸塚区大正小学校からやってきました。
- ・好きなものは妥協のない硬いパン。←特にハードなチーズパンが好き。
- ・好きなことは食べること。←栄養士免許も持っています。食事の面からも支援ができる専任を目指しています。食べ方にこだわりが強いです。
- ・児童支援専任として、日々、子どもたちのよいところや困り感に寄り添って、笑ったり落ちこんだり…。学校外の他機関とも連携して解決方法を考えています。
- ・児童支援専任としては、特に大人(保護者の方々、西本小の職員)を支えることを心がけています。

こんな私ですが…

よいことも困っていることも、何か役に立てることがありましたら、遠慮なく及川にアクセスしてください。